



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL http://www.dwti.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	—	—	△73	—	△72	—	△72	—
25年12月期第1四半期	50	33.3	△17	—	△18	—	△18	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期第1四半期	△3.20		—					
25年12月期第1四半期	△0.93		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,222	2,205	99.2
25年12月期	2,292	2,269	99.0

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 2,205百万円 25年12月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	0	—	△144	—	△143	—	△143	—	△6.32
通期	40	△50.0	△243	—	△240	—	△241	—	△10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期 1 Q	22,733,400株	25年12月期	22,695,900株
26年12月期 1 Q	— 株	25年12月期	— 株
26年12月期 1 Q	22,719,233株	25年12月期 1 Q	19,726,622株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、消費税増税前の駆け込み需要や公共投資増加等の内需拡大により、幅広い産業で回復の兆しを示しました。一方で、円安による輸出の押し上げ効果は低く、駆け込み需要の反動減も見込まれることから、先行きの不透明感は払拭されておりません。

国内医薬品業界におきましては、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、後発医薬品の利用促進、医療制度の見直しが進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が実施されました。緑内障治療剤「K-115（一般名：リパスジル塩酸塩水和物）」につきましては、緑内障・高眼圧症を適応症として、国内での製造販売承認申請が行われております。また、ライセンスアウト先のわかもと製薬株式会社により緑内障治療剤「H-1129」の国内非臨床試験が実施されました。

シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

なお、ライセンスアウト済パイプラインである、「K-134」、「K-115」、「H-1129」はいずれも、当第1四半期累計期間において新たなマイルストーン収入の発生がなかったことから売上高は発生しておりません。

利益面につきましては、研究開発費が24百万円（前年同期比4.4%減）、その他販売費及び一般管理費が49百万円（前年同期比18.4%増）であったことにより、販売費及び一般管理費は73百万円（前年同期比9.8%増）となりました。その結果、営業損失は73百万円（前年同期営業損失17百万円）、経常損失は72百万円（前年同期経常損失18百万円）、四半期純損失は72百万円（前年同期四半期純損失18百万円）となりました。

なお、当第1四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

## ① 新薬候補化合物開発状況

## (イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障・高眼圧症)	国内製造販売承認申請	興和株式会社
H-1129	緑内障治療剤 (緑内障)	国内非臨床試験	わかもと製薬株式会社

## (ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物（緑内障治療剤）	リード化合物の選定完了
	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

② 当期の業績の概況

(イ) 売上高、売上原価

売上高及び売上原価はありません。

(ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、24百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「H-1129」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は、新株予約権の権利行使による増資があり、外形標準課税が増加したことや、人件費及び支払手数料の増加等により、49百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

これらにより、営業損失は73百万円（前年同期営業損失17百万円）となりました。

(ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に受取利息及び有償サンプル代収入を計上したこと等の結果、経常損失は72百万円（前年同期経常損失18百万円）、四半期純損失は72百万円（前年同期四半期純損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から69百万円減少し、2,222百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ95百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第1四半期会計期間末98.9%、前事業年度末99.4%です。

負債は、前事業年度末から5百万円減少し、16百万円となりました。主な要因は未払法人税等が5百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から63百万円減少し、2,205百万円となりました。主な要因は四半期純損失の計上により、利益剰余金が72百万円減少したことや、新株予約権の権利行使により、資本金等の増加9百万円があったことによるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第1四半期会計期間末99.2%、前事業年度末99.0%です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、平成26年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,647,259	1,551,933
有価証券	618,960	618,440
その他	11,818	28,458
流動資産合計	2,278,038	2,198,832
固定資産		
有形固定資産	5,041	4,630
無形固定資産	281	268
投資その他の資産	8,671	19,083
固定資産合計	13,994	23,982
資産合計	2,292,033	2,222,814
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	9,328	9,683
未払法人税等	7,887	2,657
その他	5,377	4,508
流動負債合計	22,593	16,849
負債合計	22,593	16,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,997	2,352,684
資本剰余金	2,337,997	2,342,684
利益剰余金	△2,414,504	△2,487,148
株主資本合計	2,271,490	2,208,220
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,050	△2,255
評価・換算差額等合計	△2,050	△2,255
純資産合計	2,269,440	2,205,965
負債純資産合計	2,292,033	2,222,814

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	50,000	—
売上原価	—	—
売上総利益	50,000	—
販売費及び一般管理費		
研究開発費	25,462	24,347
その他	41,641	49,322
販売費及び一般管理費合計	67,103	73,669
営業損失(△)	△17,103	△73,669
営業外収益		
受取利息	139	821
有償サンプル代収入	—	484
その他	45	31
営業外収益合計	184	1,337
営業外費用		
株式交付費	1,215	72
営業外費用合計	1,215	72
経常損失(△)	△18,134	△72,405
税引前四半期純損失(△)	△18,134	△72,405
法人税、住民税及び事業税	239	239
法人税等合計	239	239
四半期純損失(△)	△18,373	△72,644

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。